

福部町のまちづくり構想基本計画

平成 3 1 年 3 月
(令和⁶~~4~~年 3 月改訂)

福部町総合支所
福部地域振興会議

はじめに

はじめには削除



平成16年の市町村合併以降、本市は各地域の資源を活かしたまちづくりを進めてきました。福部町では、砂の美術館やジオパークといった鳥取砂丘の振興が進み、砂丘地で栽培されるらっきょうの花が市の花に選ばれ、砂丘らっきょうがブランド農作物として認定されるなど明るいニュースが続きました。しかし、全市的な人口減少の中、福部町の人口も減少し続け、近い将来、地域の活力が失われていくことが顕在化してきました。

このことから、昨年度に鳥取大学地域学部 山下博樹 教授の協力で「福部町のまちづくり構想」を策定し、今年度はその具体的な方向を示す基本計画を策定しました。

この計画が福部町の魅力ある地域づくりに資するとともに、まちづくりにつながるよう、地域が一体となって特色あるまちづくりを推進してまいります。

鳥取市福部町総合支所長 平戸 伊寿美



福部地域振興会議は、合併協定に基づき設置された福部地域審議会に替わる組織として平成27年に設置され、これまで、福部未来学園の開校や総合支所庁舎の耐震化など、地域住民に関わり
の深い審議を慎重に進めてきました。

昨年度に市が策定した「福部町のまちづくり構想」では、福部町内の適地に山陰近畿自動車道の新インターチェンジを設置することを強く要望し、地域が目指す方向性を明らかにしました。今年度は、構想実現のために必要な取り組みを、地域住民によるワークショップで意見を出し合い、鳥取市都市計画マスタープランや新市域振興ビジョンとの整合を図りながら基本計画としてまとめました。

この計画が速やかに実行され地域のさらなる発展に寄与することを願っています。

福部地域振興会議会長 南部 敏

目次

※全体が決定した後にページを修正します。

I. 福部地域の特徴

- 1. 現況及び人口等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 土地利用の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3
- 3. 市町村合併後のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

II. 基本計画の目的と施策の柱、構成図

- 1. 基本計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2. 施策の柱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3. 構成図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

III. 4つの柱に沿った施策

- 柱1. 「交流のための基盤づくり」に沿った施策・・・・・・・・ 7～9
- 柱2. 「にぎわいのあるまちづくり」に沿った施策・・・・・・・・ 10～12
- 柱3. 「誰もが住みよいまちづくり」に沿った施策・・・・・・・・ 13～14
- 柱4. 「災害に強いまちづくり」に沿った施策・・・・・・・・ 15～16

IV. 計画の期間と位置づけ、進行管理

- 1. 計画の期間と位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 2. 進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

V. 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

VI. 計画策定までのながれ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

VII. 計画策定者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

I. 福部地域の特徴

1. 現況および人口等

(1) 現況

福部町は本市北東部に位置し、北は風光明媚な日本海、東は岩美町に境を接しています。面積は34.94平方kmで本市全体の約4.6%を占めています。地域全体が山陰海岸ジオパーク^{注1}エリアに属し、鳥取砂丘は代表的な見どころとなっています。鳥取砂丘周辺の砂丘地では特産の「砂丘らっきょう」が栽培され、日本有数の栽培面積を誇っています。



図1: 福部町の位置図



図2: 福部町の人口等の推移

(2) 人口等

福部町の人口は、市町村合併前の平成16年は3,494人(H16.4.1旧福部村当時)でしたが、~~平成30年~~^{令和5}には~~2,967~~^{2,710}人(H30.4.1)まで減少しています。その割合は、合併後~~15~~^{R5}年間で約~~15~~²²%減少したことでなっています。

一方、世帯数は平成16年は940世帯でしたが、~~平成30年~~^{令和5}には~~1,039~~^{1,050}世帯まで増加しています。合併後~~15~~²⁰年間で約~~10~~¹²%増加しています。

最新(R2,R4追加)のグラフに差し替え予定

(3) 自治会加入率等

福部町の自治会加入率(~~H30.4.30~~^{R5})は~~79.9~~^{77.2}%と本市の平均~~65.9~~^{61.52}%より高い水準にあります。これは、他の地域と比べ、本地域には集合住宅が少ないことが要因と考えられています。しかし、近年、単身世帯の増加で全市的に自治会加入率は低下傾向にあることや、若者世帯を中心とした集合住宅への需要の高まりから、今後、何も対策を講じなければ、自治会加入率は低下する一方にあると考えられています。

注1 山陰海岸ジオパーク：鳥取県、兵庫県、京都府にまたがる、地球科学的に見て重要な自然の遺産を含む、世界ジオパークネットワークが認めた自然に親しむための公園。

福部町

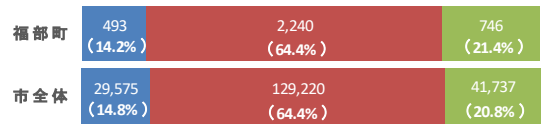
300 (11.1%) 1,420 (52.4%) 990 (36.5%)

(4) 少子高齢化の進行

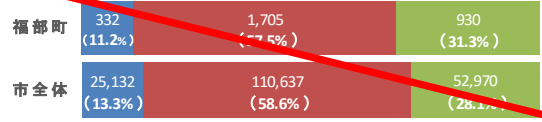
市町村合併当初、福部町の年齢3階層別人口構成は市全体の平均値とほぼ同等でした。しかし、約~~15~~²⁰年を経た現在の構成は、市全体より早く少子高齢化が進行していることがうかがえます。

このことから、今後、何も対策を講じなければ、福部町の少子高齢化はますます進行し、地域の活力低下は避けられない状況となっています。

(H17. 1. 1)



~~R5 (H30. 4. 1)~~



最新 (R5) に差し替え予定

図3: 年齢3階層別人口構成

22,840 (12.5%) 103,811 (57.0%) 55,512 (30.5%)

市全体

2. 土地利用の状況



図4: 本市の都市計画区域

(1) 本市の都市計画区域

市町村合併前の旧福部村では、平成7年度に都市計画マスタープランを策定するとともに都市計画区域を設定し、地域の都市づくりに関する適切な土地利用規制を推進してきました。この計画区域は、市町村合併後、福部都市計画区域として新市に引き継がれています。

(2) 福部都市計画区域

福部都市計画区域は、駅前集落から海浜部にかけての町北部が該当エリアで、土地利用方針として、おもに「都市的な生活エリア」と「自然公園及び自然環境保全地域」が設定されています。

一方、栗谷・箭溪集落から山間部にかけての町南部は、福部都市計画区域のエリア外ですが、「自然環境保全エリア」としての土地利用方針が設定されています。

福部全域が入った図に変更



図5: 福部都市計画区域

出典 図1: 福部町の位置図 http://jichisoken.jp/publication/researchpaper/117/No.117_153-168.pdf

(3) 道路網の整備



図6: 道路網の整備状況



写真1: 山陰近畿自動車道



写真2: 岩美広域農道

福部町では近年、2つの道路整備が大きく前進しました。1つは福部町北部地域を横断する山陰近畿自動車道駒馳山バイパスで、この道路は、鳥取・兵庫・京都の3府県にまたがり、山陰海岸ジオパークに沿った整備が進められていることから、「ジオパークロード」の愛称で親しまれています。

もう1つは福部町南部地域を横断する岩美広域農道で、この道路は、農業経営基盤の強化や地域の活性化はもとより、災害時の広域迂回路としての機能や、周辺の観光地を結ぶ新たな観光道路として期待されていることから、「美野梨ロード」の愛称で親しまれています。



写真3: 箭溪川（江川）との合流部の改修状況

(4) 塩見川と治水

塩見川下流域では幾度となく洪水被害に見舞われ、昭和54年から河川改修工事が行われていました。

平成29年には狭く部の改修が進み、住宅への浸水被害の軽減が図られました。

令和3年から支所上流部の改修が引き続き行われています。

3. 市町村合併後の主なあゆみ

平成16年	らっきょう販売高が10億円突破
平成17年	福部中学校体育館が完成、らっきょうの花が市の花に
平成18年	岩美広域農道 上野～美歎間が開通、砂の美術館が開館
平成19年	塩見川洪水ハザードマップを作成、JA鳥取いなば福部支店が新築
平成20年	岩美広域農道 蔵見～岩美間が開通、らっちゃんバス ^{注2} が運行開始
平成21年	鳥取・因幡の祭典 世界砂像フェスティバルが開催
平成22年	山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定
平成23年	福部地域振興プラン（平成23年度～平成27年度）を策定
平成24年	砂の美術館が世界初の砂像展示専門の屋内美術館として開館
平成25年	福部の教育を考える会が発足
平成26年	駟馳山バイパスが開通、福部郵便局が総合支所内に移転
平成27年	地域振興会議がスタート
平成28年	砂丘らっきょうがGI ^{注3} 認証取得、福部未来学園が開校
平成29年	岩美広域農道が全線開通、新インターチェンジ要望活動が開始
平成30年	総合支所庁舎耐震改修工事に着工



写真4: らっきょうの花 (市の花)



写真5: 福部未来学園

注2 らっちゃんバス：公共交通空白地有償運送制度で運行される福部町内循環バス

注3 GI：地理的表示 (Geographical Indication)

令和元年 総合支所庁舎耐震改修工事完成

- 4 -

令和2年 福部町コミュニティセンター改修及び多目的ホール増築工事が完成し、複合化施設となる

令和4年 過疎地域指定

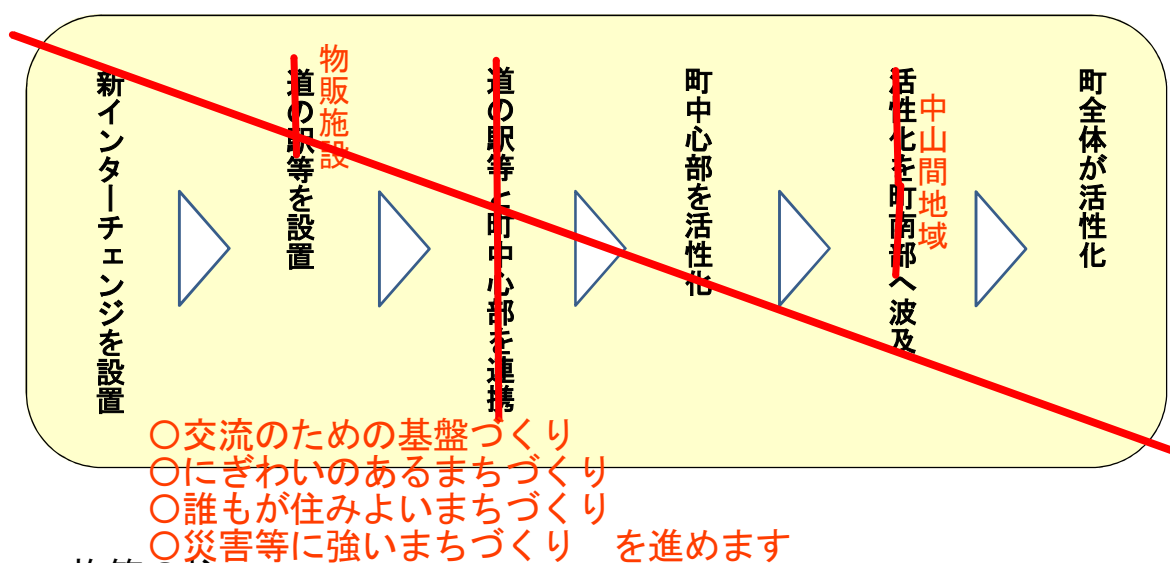
II. 基本計画の目的と施策の柱、構成図

1. 基本計画の目的

この計画は福部町のまちづくり構想（平成30年3月策定 以下、「構想という」。）の実現に向けた基本的事項を取りまとめることを目的に策定します。

山陰近畿自動車道の福部町内の適地に新インターチェンジを設置し、それを契機とした福部町全体の活性化をめざします。

計画がめざす福部町全体の活性化手順

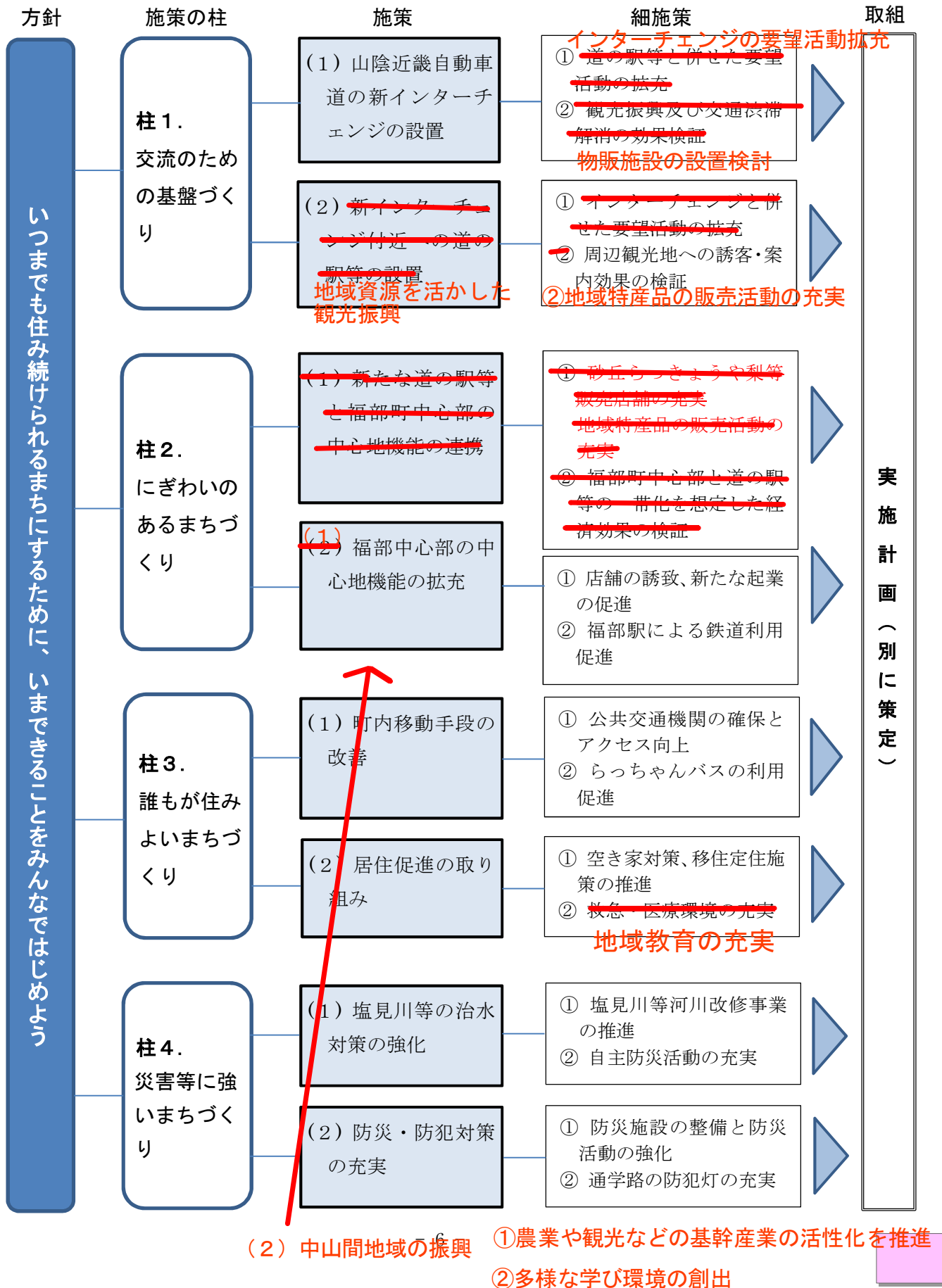


2. 施策の柱

構想の7つの課題に、町民の関心の高い「防災・防犯対策の充実」を加えた8つの課題を施策とします。各施策をグループ化して4つの柱にまとめます。

- ①福部町中心部の中心地機能の拡充 山陰近畿自動車道の新インターチェンジの設置
- ②山陰近畿自動車道の新インターチェンジの設置 地域資源を活かした観光振興
- ③新インターチェンジ付近の道の駅等の設置 福部中心部の中心地機能の拡充
- ④新たな道の駅等と福部町中心部の中心地機能の連携 中山間地域の振興
- ⑤町内移動手段の改善
- ⑦居住推進の取り組みについて
- ⑥塩見川の治水対策の強化
- ⑧防災・防犯対策の充実

3. 構成図



Ⅲ. 4つの柱に沿った施策

4つの柱に沿った施策とその基本的な考え方は、次のとおりです。

柱1. 「交流のための基盤づくり」に沿った施策

(1) 山陰近畿自動車道の新インターチェンジ（IC）の設置



鳥取県東部では、鳥取自動車道、山陰自動車道、山陰近畿自動車道が整備されていますが、近い将来、これらがすべてつながり、地域に大きな活力をもたらそうとしています。

しかし、福部町を横断する山陰近畿自動車道には、町内にインターチェンジが1か所しかなく、地域住民が利用しやすいものとなってはなりません。

図7: 自動車道の整備状況

最新の図に差し替え? ⇒図の出所がわかれば差し替える

山陰近畿自動車道と市道福部海岸線が交差する付近に新たなインターチェンジを設置するよう、専門的組織を立ち上げ、周辺地域と連携して要望活動を展開していきます。



写真6: 山陰近畿自動車道

インターチェンジの要望活動拡充

①道の駅等と併せた要望活動の拡充

引き続き、国県要望を行いながら町民が暮らしやすい環境整備を進めます。

山陰自動車道浜村インターチェンジ付近には道の駅「西いなば 気楽里」の整備が進んでいます。福部町の新インターチェンジも同様に、道の駅や地域センター型物販施設等と併せた設置となるよう、地域で要望していきます。



写真7: 道の駅「西いなば 気楽里」

P 8 ②物販施設の設置検討の説明に持ってくる

②観光振興及び交通渋滞解消の効果検証

平成18年に開館した砂の美術館は、平成24年に恒久的砂像展示施設としてリニューアルし、毎年40万人を超える入館者が訪れています。

併設のサンドパルとつとりは、鳥取の観光・イベント情報の発信拠点となっています。

また、鳥取砂丘ビジターセンターなどの観光案内施設から山陰海岸ジオパークの鳥取砂丘エリアならではの魅力あるアクティビティなどの情報発信を進めます。
令和5

らっきょう花マラソン大会は平成30年度に第37回を迎えました。近年、福部町では鳥取マラソンやトライアスロン大会なども開催されるようになり、福部町は県内有数のスポーツイベントの開催地となっています。

鳥取砂丘周辺では、パラグライダーやサンドボードといったアウトドアスポーツに加え、最近では、砂丘ヨガやファットバイクといった新たなアクティビティも誕生し国内外から注目されています。

上記のとおりですが、行楽シーズンには、砂丘周辺の道路は渋滞となり、観光客のみならず地域住民の生活にも影響が出ています。新インターチェンジの設置が、観光振興および交通渋滞解消に効果があるか検証を進めるとともに、駐車場の確保に努めるなど渋滞対策を強化します。



写真8:砂の美術館



写真9:らっきょう花マラソン



写真10:砂丘YOGA



写真11:交通渋滞の状況

出典 写真10:砂丘YOGA <https://www.sand-dunes-yoga.com/gallery>

出典 写真11:交通渋滞の状況 <https://ameblo.jp/ranchu0407/entry-12372266482.html>

地域資源を活かした観光振興

(2) ~~新インターチェンジ付近への道の駅等の設置~~

~~岩美町の道の駅「きなんせ岩美」には、コンビニエンスストアやJAの支店、スーパーマーケット、ガソリンスタンドが併設され、地域の生活拠点となっています。~~



写真12: きなんせ岩美

近年、道の駅には温泉やデイサービスセンターを併設した施設も見られるようになりました。

福部町が設置をめざす新たなインターチェンジ付近には、展望浴場のある砂丘温泉ふれあい会館などがあることから、これらの施設の利活用や連携についても検討を進めます。



写真13: 展望浴場

① ~~インターチェンジと併せた要望活動の拡充~~

~~道の駅は災害時の防災拠点としての役割も期待されています。道の駅等設置にあたっては、観光面のみならず、防災や福祉といった多様な分野での要望活動を検討していきます。~~



写真14: 道の駅での防災訓練

① ② ~~周辺観光地への誘客・案内効果の検証~~

きなんせ岩美は山陰近畿自動車道岩美ICから約1キロ離れたところにあります。アンケート調査や交通量調査を実施して、周辺の観光施設への誘客・案内効果について検証します。



写真15: 岩美IC周辺

② ~~地域特産品の販売活動の充実~~

P10の①砂丘らっきょうや梨の販売店舗等の充実を持ってくる

同左

柱2. 「にぎわいのあるまちづくり」に沿った施策

P9の地域特産品の販売活動の充実に持っていく

~~(1) 新たな道の駅等と福部町中心部の中心地機能の連携~~

砂丘らっきょうや梨の販売店舗等の充実

~~① 砂丘らっきょうや梨の販売店舗等の充実地域特産品の販売活動の充実~~

福部町でらっきょうの生産が始まって100年余。幾多の苦難を乗り越えた先人たちの営みを顕彰するとともに、歴史を振り返る施設や、らっきょうの試食、漬け方等が学べる施設の充実に努めます。



写真16:らっきょう収穫状況

福部町には、砂丘らっきょうの他にも二十世紀梨などの優れた特産品があり、鳥取砂丘にほど近い観光梨園では、シーズン中、梨狩りを目当てとする多くの観光客でにぎわっています。



写真17:梨狩り

~~物販施設~~道の駅等の設置にあたっては、地元生産者と連携し、魅力ある施設の設置をめざします。

~~②福部町中心部と道の駅等の一体化を想定した経済効果検証~~

あがた

県交差点から駅前交差点までの県道には、住民に親しまれるような愛称がまだ付けられていません。道路に愛称を付け、地域住民のボランティア活動への参画を進めるとともに、歩道周辺の耕作放棄地の利活用も検討します。



写真18:ボランティアロード

出典 写真14:道の駅での防災訓練 <http://net.keizaikai.co.jp/archives/10525>

出典 写真17:梨狩り <https://www.tottori-guide.jp/tourism/tour/view/795>

出典 写真18:ボランティアロード <http://www.pref.kyoto.jp/doroka/sawabora.html>

1 (2) 福部町中心部の中心地機能の拡充

①店舗の誘致、新たな起業の促進

コンビニエンスストアでの行政サービスの増加や、公共施設の更新問題を踏まえ、庁舎にコンビニエンスストアを併設する自治体が増えていきます。

福部町でも総合支所にコンビニエンスストアが併設できないか検討します。



写真19: 庁舎に併設のコンビニ

青谷町では、旧日置小学校の空き校舎を活用した植物工場が青谷ブランドの野菜出荷に取り組んでいます。

福部町でも福部未来学園の旧中学校校舎や機能移転後のコミュニティセンターの利活用について、検討を進めます。



写真 20: 旧校舎活用の植物工場

岩戸漁港では、海女の就業を契機に朝市が開催されるなど活性化が進んでいます。岩戸産の魚介類の高付加価値化を支援するとともに、岩戸産の魚介類を使った商品開発や、店舗の誘致、新たな起業を支援します。



写真21: 岩戸漁港朝市

福部町中心部や砂丘周辺で軽トラ市のようなイベントを定期的で開催し、地域が稼ぐしくみや、地域で生み出された富を地域で循環させるしくみの定着をめざします。



写真22: 軽トラ市

②山陰本線福部駅による鉄道利用促進

福部駅は明治43年に塩見駅として開業し、昭和24年に福部駅へ改称、昭和47年の無人駅化を経て、現在に至っています。

駅周辺は見晴らしが良く、ホームからは、遠くにらっきょう畑を見ることができます。



写真 23: 福部駅

全国的に駅や鉄道を地域資源としたさまざまなまちづくりが行われています。福部町でも福部駅周辺に、リノベーションによるおしゃれなカフェやにぎわいの拠点が設置できないか、調査・研究を進めます。



写真24: 森の列車カフェ

海外にも多くのファンがいる児童書「こんとあき」は鳥取砂丘が舞台の絵本です。市立図書館の貸出カードやわらべ館の壁面に描かれ、市民に親しまれています。

鳥取砂丘に一番近い福部駅のPRに活用できないか調査・研究を進めます。



写真25: こんとあき

米子空港は米子鬼太郎空港に、鳥取空港は鳥取砂丘コナン空港に愛称設定され、国内外に知られています。

福部駅にも地域住民や観光客に親しまれる新たな愛称が命名できないか検討します。

(2) 中山間地域の振興

①農業や観光などの基幹産業の活性化を推進

特産品であるらっきょうや梨などの農作物に付加価値をつけ、魅力的な観光資源として全国へ発信しつつ、若手後継者の育成を進めます。



写真 26: 鳥取砂丘コナン空港

出典 写真21:岩戸漁港朝市 <https://tottori.uminohi.jp/>

出典 写真22:軽トラ市 <http://yasuda.hatenadiary.jp/entry/2018/04/12/104945>

出典 写真24:森の列車カフェ <https://www.kantenkan.net/>

②多様な学び環境の創出

地域の特色を生かした農業体験や地域住民とのふれあいを通じ、郷土愛の醸成を図ります。

柱3. 「誰もが住みよいまちづくり」に沿った施策

(1) 町内移動手段の改善

①公共交通機関の確保とアクセス向上

らっちゃんバスの経路や時間帯を見直し、路線バスや鉄道とのアクセスを向上させるとともに、これらをつなぐ新たな移動手段についても検討します。また、免許を返納した高齢者等の利用が促進されるよう運行形態を再検討します。



写真27:らっちゃんバス

②らっちゃんバスの利用促進

らっちゃんバスの車内に地域住民の作品を展示するなど、住民参加型の取り組みを推進し、バスの利用を促進します。~~また、福部駅から鳥取砂丘へ向かうの観光客が増加しつつあることから、らっちゃんバスの観光目的での利用や土日祝日の利用についても検討を進めます。~~



写真28:バス車内での作品展示

長崎県諫早市では、特産品のフルーツをかたどったバス停がお目見えして話題となっています。同様の取り組みやキャラクターを用いたバス停の設置が福部町でも実現できないか調査・研究を進めます。



写真29:フルーツバス停

出典 写真28:バス車内での作品展示 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/koutsuu/08200164.html>

出典 写真29:フルーツバス停 <http://www.yoshitsugu.co.jp/>

(2) 居住促進の取り組み

① ~~空き家対策、移住定住施策の~~ **推進**

~~福部町では、多鯉ヶ池のほとりにお試し住宅を整備し、市内移住を検討される多くの方にご利用いただいています。今後は、地域が主体となる空き家対策組織の立ち上げや、休業中の民宿を活用した体験型ゲストハウスによる民泊の推進についても検討を進めます。~~

また、空き家データ集約後には、移住定住希望者への積極的なマッチングを行い、移住や交流人口の増加につながる情報発信を強化します。

免許返納などで高齢者の買い物手段が失われないように、関係機関が連携して移動販売の充実に努めます。併せて、高齢者の見守り活動や集いの場の設置についても検討を進めます。



写真30: お試し住宅



写真31: 移動販売車

② ~~救急・医療環境の~~ **地域教育** 充実

~~鳥取県立中央病院の建て替えにより、今後、県東部の医療体制はますます充実します。いのちの道としての山陰近畿自動車道の利便性をさらに向上させるため、鳥取～福部間のミッシングリンク^{注4}解消と新インターチェンジの設置を要望していきます。~~



写真32: 鳥取県立中央病院

福部未来学園の特別教科「みらい」では、福部の自然や地域の人々からの学びを通じ、豊かな人間関係や地域の未来を考える「ふるさとキャリア学習」を実践しています。また、保護者を中心とした有志で立ち上げた団体である福部となりのがっこうが、旧中学校の空き教室を活用して、地元の資源を活用した体験教室を実施するなど魅力ある学園生活を過ごす中で郷土愛に溢れた子どもの健全育成を進めます。

出典 写真31: 移動販売車 <http://www.iwami.gr.jp/item/8374.htm>

注4 ミッシングリンク：高速道路網の未整備区間

柱4. 「災害等に強いまちづくり」に沿った施策

(1) 塩見川等の治水対策の強化等

①塩見川等河川改修事業の実施

塩見川の河川改修の進捗により福部町総合支所周辺の治水対策は向上しました。しかし、豪雨災害は、全国的に依然、増加傾向にあることから、引き続き、駅前地区の内水排除等、本事業の早期完成を図るとともに、江川河川改修事業の積極的な促進に取り組みます。



写真33: 以前の塩見川水害状況

また、塩見川下流域における耕作放棄地の保水・遊水機能の利活用について、水鳥公園や親水公園の例を参考に研究を進めます。



写真34: 米子水鳥公園

の中山間地域

塩見川上流域に位置する福部町南部には豊かな水田が広がっています。「天然のダム」とも呼ばれる水田の保水機能を維持するためにも、~~町全域の耕作放棄地の解消に努めます。~~

農業生産活動を支援するなど、持続可能な中山間地域づくりを進めます。



写真35: 清内谷集落の棚田

出典 写真35: 清内谷集落の棚田 <http://furusato-kakashi.net/photoguide-tottori.html>

出典 写真36: 防災無線 https://www.town.aichi-togo.lg.jp/jinji/photodiary/h27_suibou.html

出典 写真38: 水防訓練 https://www.town.aichi-togo.lg.jp/jinji/photodiary/h27_suibou.html

出典 写真39: 防犯灯 <http://www.hiroshimakasei.co.jp/index.php?page=101>

(2) 防災・防犯対策の充実

①防災施設の整備と防災活動の強化

地域住民や観光客へ防災情報を伝える手段として、屋外拡声子局の充実を図ります。

また、福部地域での行政情報を伝達するため、地域内情報伝達設備の更新を進めます。



写真36: 防災行政無線

砂丘温泉ふれあい会館は、福部地域の避難場所として指定されています。今後とも、防災体制の拡充に努め、災害に強いまちづくりを進めます。また、砂丘周辺の観光施設についても、協定などによる災害時の一時的な避難場所としての利用を検討します。



写真37: 砂丘温泉ふれあい会館

地域住民で組織する自主防災会、消防団および行政等が連携し、地域の支えあい体制の強化を図る防災学習や訓練などを定期的実施します。また、自主防災会の母体となる自治会の組織力を高めるため、自治会加入率の向上に努めます。



写真38: 水防訓練

②通学路の防犯灯の充実

通学路の安全性をさらに向上させるため、まちづくり協議会が事業主体となり、これまで整備がなされていなかった集落間の防犯灯の整備を進めます。

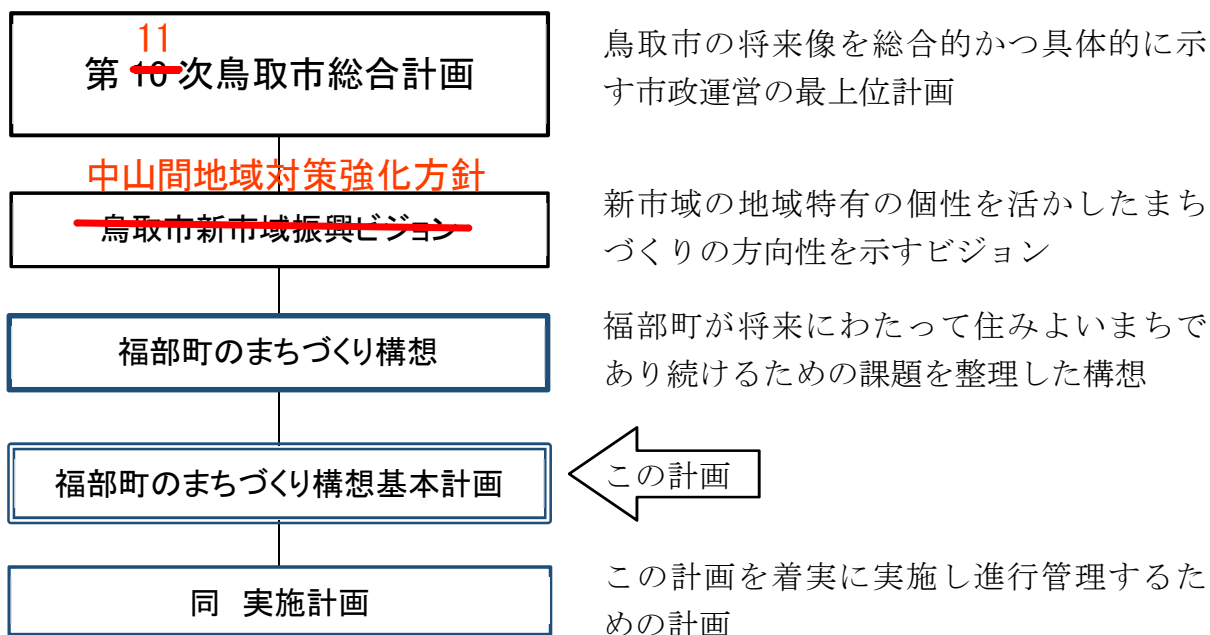


写真39: 防犯灯

IV. 計画の期間と位置づけ、進行管理

1. 計画の期間と位置づけ

この計画の期間は、~~平成31~~^{令和6}年度から~~平成35~~^{令和10}年度までの5年間とします。
本市の各種計画との位置づけは次のとおりです。



2. 進行管理

(1) 計画の見直し

社会経済情勢等の変化に伴い、今後、新たに顕在化する課題等に柔軟かつ迅速に対応するため、計画期間内においても、必要に応じて、計画の見直しを行います。

(2) 実施計画の策定と継続的な見直し

計画の着実な推進を図るため、3カ年を期間とする実施計画を策定します。
実施計画については、毎年度、その内容について、有効性の検証を行い、継続的な見直しを行います。

V. 推進体制

この計画に基づく実施計画の策定と実施計画に基づく重要な方針等の検討に当たっては、地域と緊密に連携していきます。

また、その執行に当たっては、地域住民へのわかりやすい情報提供に努めます。

1. 推進体制

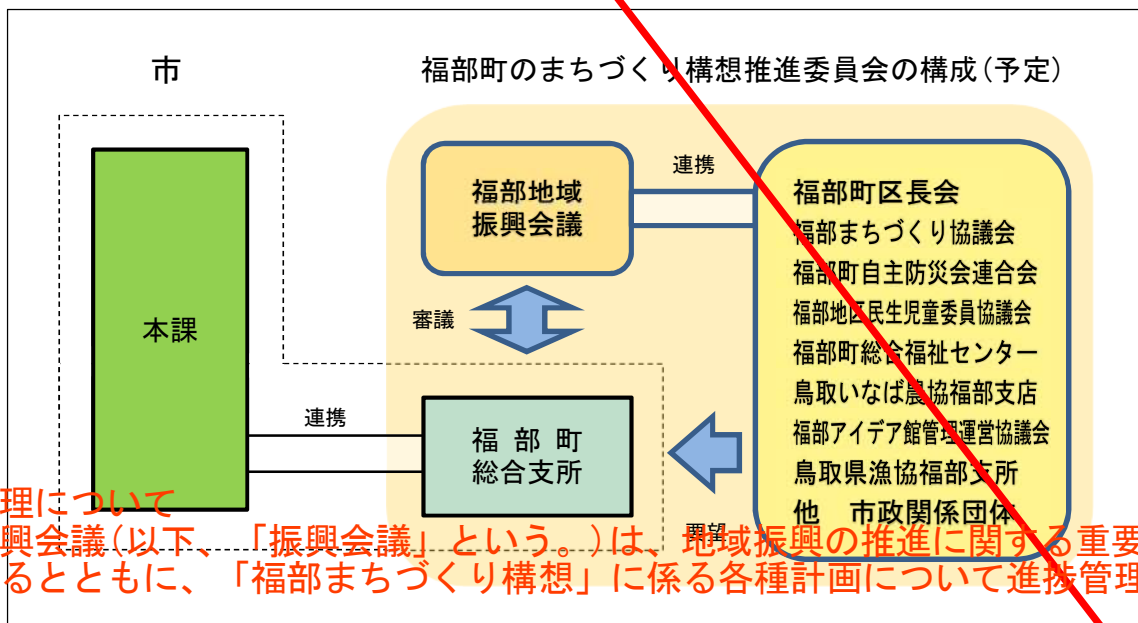
(1) 福部地域振興会議

市長が委嘱する委員で構成し、地域振興の推進に関する重要事項を調査審議するとともに、進行状況についての評価を行います。設置期間は平成27年4月1日から平成37年3月31日までの10年間です。

(2) 福部町のまちづくり構想推進委員会

福部地域振興会議会長を委員長とし、町内の市政関係団体等で構成する推進委員会を設置します。この会を定期的に行い、基本計画と実施計画の進行管理を行います。

図8: 推進体制イメージ図



(1) 進捗管理について
福部地域振興会議(以下、「振興会議」という。)は、地域振興の推進に関する重要事項を調査審議するとともに、「福部まちづくり構想」に係る各種計画について進捗管理を行います。

振興会議の設置期間は、平成27年4月1日から令和7年3月31日まで10年間となっています。

令和7年4月以降は、振興会議に代わる新たな会議体を設置し、進捗管理を実施する予定としています。

(2) 地域連携等について

計画の推進にあたっては、振興会議が町内の市政団体の意見を集約しながら調整を行います。

また、地域住民へ支所だより、ホームページ等あらゆる媒体を活用して情報発信を行いながら、必要に応じて、関係団体に対して意見や支援を行うなど、地域連携の推進に努めます。

見直し

VI. 計画策定までのながれ

見直し 令和5年度に開催された7回の福部地域振興会において
この計画の策定にあたり、次のとおり審議を行いました。

年 月	審議の内容など
平成30年4月	第1回会議で福部町のまちづくり構想の完成を報告
5月	第2回会議で構想推進のための基本計画策定を決定
7月	第3回会議で兵庫県養父市のまちづくりを視察
8月	第4回会議でまちづくりワークショップの開催方法を決定
10月	第5回会議でまちづくりワークショップを開催
11月	第6回会議で意見募集の実施方法を決定
平成31年1月	意見募集、第7回会議で実施計画（たたき台）を検討
2月	東部地域合同地域振興会議で国府地域振興会議と意見交換 第8回会議で計画（案）、実施計画（素案）を審議
3月	完成・公表

福部町のまちづくりについて、地域みなさんと一緒に考えるためのワークショップを開催しました。



写真 40:意見交換のようす

日 時 平成30年10月17日（水）
13:30～16:00
会 場 福部町コミュニティセンター
2階講堂
参 加 者 地域住民、市職員等32名
意見交換 4名ずつ8グループに分かれて、
次の検討課題について意見交換

グループ	検討課題
基盤整備1・基盤整備2	交流のための基盤づくりに関すること
にぎわい1・にぎわい2	にぎわいのあるまちづくりに関すること
福祉1・福祉2	誰もが住みよいまちづくりに関すること
防災1・防災2	災害に強いまちづくりに関すること

VII. 計画策定者名簿

今回の見直しメンバーの名簿に改めます

所属	氏名（役職）	職名
福部地域振興会議	南部 敏（会長）	福部町区長会会長
	坪内 悟	福部まちづくり協議会会長
	山本 輝彦	元福部町社会福祉協議会会長
	小谷 孝文	福部地区民生児童委員協議会会長
	岸本 正枝	鳥取市公平委員
	上山 弘子（副会長）	元鳥取県教育委員
	濱田 香	元男女共同参画推進会議 福部支部長
	西尾 祥幸	若手農業生産者代表
	平田 正雄	公 募
	北村 重政	公 募
	若狭 さつき	公 募
	早島 岳大	公 募
福部町総合支所	平戸 伊寿美	福部町総合支所長
	石脇 昭彦	同 副支所長兼地域振興課長
	本家 悟	同 産業建設課長
	森 昌彦	同 市民福祉課長
	米澤 裕治	同 地域振興課課長補佐

福部町のまちづくり構想基本計画(第~~1~~²版)

編集・発行

福部町総合支所地域振興課

〒689-0102 鳥取市福部町細川668

電話 0857-~~75-9811~~³⁰⁻⁸⁶⁶²

ホームページ 鳥取市公式ウェブサイト内
福部町総合支所で検索